民医連

代々木歯科

嚥下内視鏡検査が可能に

＝その46＝

歯科医師　上田英範

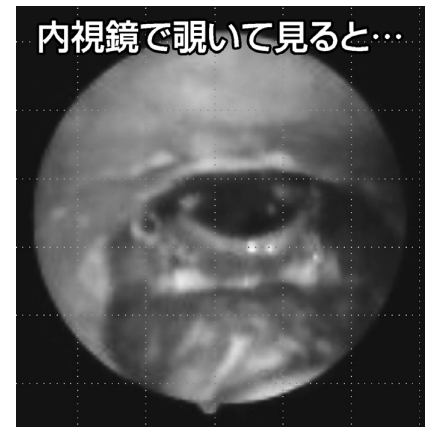
内視鏡で飲み込みの検査

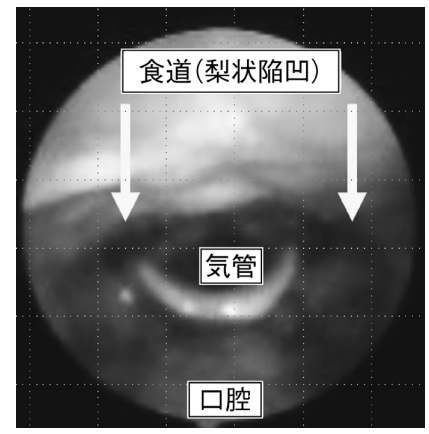
この度、代々木歯科では嚥下内視鏡を導入し摂食嚥下機能障害の方を対象とした飲み込みの検査を視覚的に行えるようになりました。

摂食嚥下機能障害は、脳血管障害、パーキンソン病、認知症などが原因で、上手く食べ物を飲み込むことが出来ず、脱水症や栄養不良、誤嚥を起こし身体に重大な影響を引き起こします。また、食べる楽しみも失われてしまいQOLの著しい低下につながります。

検査の方法と実施の利点

嚥下内視鏡検査では、鼻からファイバースコープを喉まで通しのみ込み動作を直接見ることが出来ます。持ち運びが出来る器材になりますので特に自宅療養されている患者さんにとってはご自宅でいつものように食事をして頂く様子を記録するため検査が行えその場で結果をお伝えし、安心安全に食事を行っていくための指導やリハビリテーション計画の立案が可能になります。





左に実際に健常者で検査を行っているときの画像を紹介します。上は牛乳を飲み込んだ後の画像になり、気管の中には牛乳が侵入しておらず、その周囲に牛乳が残留しているのが分かります。このような画像を見ながら評価診断を行います。

相談室の窓

「困ったな」「不安だな」と思ったら一人で抱え込まず、ご相談ください

患者サポートセンター
ソーシャルワーカー
大畑　香代子

一緒に考え解決していくお手伝い

病気や怪我をきっかけに、仕事や家庭など様々な生活上の問題が生じてくることがあります。それらの問題は、入院をしている間だけでは解決できないことが多く、病院の中でできることには限界があり、退院後も課題を抱えながら生活をしている場合が少なくありません。

相談に対応する大畑さん

患者様、ご家族にとっては、治療が終わってからが生活の再出発になります。病気や身体の状態によっては、今まで通りの生活に戻れるとは限らず、家庭内での役割も変化せざるを得ない状況になることもあり、今後の生活への不安は大きいと思います。

そのため、たちはだかる困難を乗り越えていけるよう、患者様の持つ力を最大限引き出していきながら、地域のネットワークを活用して問題解決の道筋を立てていくことが大切だと感じます。

安心して暮らしていただけるように、私たちソーシャルワーカーも、一緒に考え解決していくお手伝いをさせていただけたらと思っています。

「困ったな」、「不安だな」と思ったら、おひとりで抱え込まず、私たちへご相談ください。

サプリメントに頼らない生活

薬剤師　藤竿伊知郎（外苑企画商事）

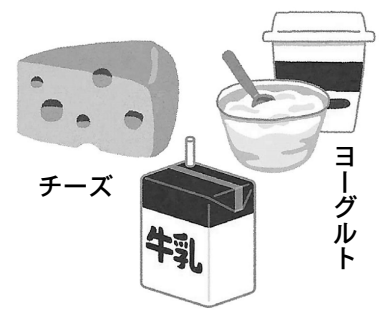
(36) 摂り過ぎは危ない、カルシウムサプリメント

カルシウムは安全なサプリメントと思われていましたが、2010年代になり、心臓血管系の副作用が疑われています。

2013年、アメリカで39万人を12年間追跡した研究により、1日1000mg以上サプリメントで摂取していた男性は心血管系の死亡率が2割高いと報告されました。また、スウェーデンの研究では1日1400mg以上摂取した女性でリスクが5割増しと報告されています。

どちらの研究でも、食物からカルシウムを摂取している者は安全でした。サプリメントで一度に多くのカルシウムをとると腎臓から排泄できず、動脈の石灰化が起きているのではないかと考えられています。一方で心血管系への影響はないという研究もあり決着はついていません。

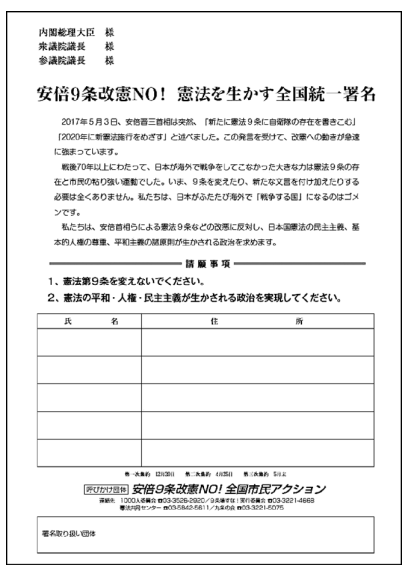
サプリメントを1日600mg以上とることはやめ、チーズやヨーグルトなど乳製品を食べることをおすすめします。



安倍9条改憲NO！3000万人署名を10人20人と広げてください

昨年、安倍首相は憲法改正の期限を「2020年施行」と区切り、9条1項、2項を残し、3項に「自衛隊」の存在を明記する考えを表明し、今年、年頭あいさつで、改正議論をすすめると表明しました。

安倍首相は、改憲勢力が国会で3分の2の議席を持っている間に国民投票を実施し、改憲を狙っています。6月の通常国会での改憲発議の準備をすすめています。


内閣総理大臣　様
衆議院議長　様
参議院議長　様

安倍9条改憲NO！ 憲法を生かす全国統一署名

2017年5月3日、安倍晋三首相は突然、「新たに憲法９条に自衛隊の存在を書きこむ」「2020年に新憲法施行をめざす」と述べました。この発言を受けて、改憲への動きが急速に強まっています。

戦後70年以上にわたって、日本が海外で戦争をしてこなかった大きな力は憲法９条の存在と市民の粘り強い運動でした。いま、９条を変えたり、新たな文言を付け加えたりする必要は全くありません。私たちは、日本がふたたび海外で「戦争する国」になるのはゴメンです。

私たちは、安倍首相らによる憲法９条などの改悪に反対し、日本国憲法の民主主義、基本的人権の尊重、平和主義の諸原則が生かされる政治を求めます。

請願事項

1、憲法第9条を変えないでください。
2、憲法の平和・人権・民主主義が生かされる政治を実現してください。

氏　名	住　所

呼びかけ団体　安倍9条改憲NO! 全国市民アクション

署名取り扱い団体

憲法9条は、戦争法を強行施行しても海外での武力行使を制限する大きな防波堤になっています。9条がある限り、海外で自由な活動はできません。そのことから、「9条の壁」を取り払って、海外でアメリカと一緒に武力行使できる改憲を狙っています。単なる「自衛隊の明記」ではありません。明記される自衛隊は、災害支援などで働く自衛隊の明記ではなく、戦争できる自衛隊です。もはや「専守防衛」の自衛隊でなくなります。3項を加え自衛隊を明記すると、法の原理では、加えた3項が優先されるため、1項、2項「永久に戦争しない」「戦力は持たない」と誓った条項が空文化し、9条が破壊されます。国民の反戦の思いを集めてつくられた憲法9条は、70年たった今も国民の希望であり、世界の宝です。国民は憲法改正など望んでいません。戦後、70年以上、一人の戦死者も外国人の犠牲者も出していないのは9条があるからです。

戦争する国づくりの危険性から、澤地久枝さんや、瀬戸内寂聴さん、なかにし礼さんらを発起人に「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」が緊急発足し、民医連も加わり全国統一3000万人署名が呼びかけられました。有権者の過半数の反対の声を集めて発議できないような状況つくろうと行動しています。ご一緒に、憲法9条を守るために、ご署名の輪を広げて頂きますよう心からお願いいたします。